

生き残りをかけた 方向転換が 業界参入の転機へ



株式会社大日光・エンジニアリング
代表取締役副社長 山口 琢也 氏

株式会社大日光・エンジニアリングは、「電子機器のものづくりNo1プロ集団」を目指して1979年に栃木県日光市に設立された。総合EMSメーカーとして、回路設計から電子基板実装、完成品組立までを行い、OA機器関連を中心に、車載、通信機器、産業機械など多種多様な業界と取引している。そして近年、医療機器業界へも幅を広げている。

きっかけとなったのは、「単純なものづくり、従来どおりのものづくりでは生きていけない」という危機感だった。同社は1990年代以降、海外へ展開を広げ、現在では国内に4工場、海外（中国、タイ）に5工場をかまえるまで拡大している。しかし副社長の山口氏は、「最近はやがて円安が進み、一部の製造業で国内回帰の流れが見えてきたと言われていますが、これまで長期間続いた海外生産シフトの動きが急に国内生産に戻ってくるとも考えられません」と将来を見据える。特に、テレビや携帯事業などの特定家電は海外メーカーとの価格競争に敗れ、国内工場の

閉鎖や事業撤退などが進んできた。結果、日本の基板実装工場は、競合間での消耗戦を強いられている状況だ。

そのような現状を受け、大日光・エンジニアリングはついに国内での生き残りをかけた方向転換に踏み切った。これまでの大量生産向け管理体制から、1台の生産からでもお客様の要望に対応できる管理体制へと転向をはかったのだ。

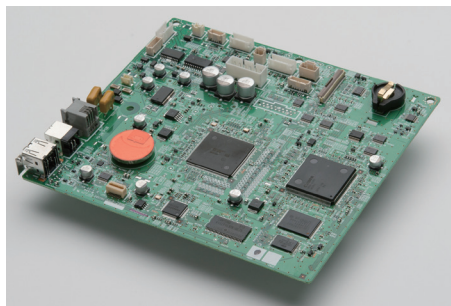
その転換が功を奏し、薬事法の製造許可を必要としない範囲での医療機器関連の実装基板、完成品組立を請け負うようになる。その後は納入実績を重ね、医療系機器向けの生産における独特の管理ポイントや注意点などの生産・管理ノウハウを蓄積していく。新規業界参入について山口氏は、「数年前までは、医療機器業界は生産数量も少ないし、客先監査や品質要求レベルも高いからと諦めていました。しかし現在ではISO13485の取得準備を進め（2016年取得予定）、より高度で安全性を求められる医療機器製品の生産を目指しています」と積極

的な姿勢だ。

今後は、より積極的に受注を増やすために3つのポイントにさらに磨きをかけていく。それは、様々な業界向け製品で培った生産技術ノウハウ、1台からでも生産対応できる柔軟な生産管理、そして、医療系機器生産における独特の管理ノウハウだ。それらを最大限に活かし、国内医療機器業界へと挑戦していく。

「医療機器業界は、車載関連機器と同じく、参入障壁の高い業種です。大きさに聞こえるかもしれませんが、医療機器関連の製品を生産するには、社員一人一人が強い責任感を持つことが絶対条件です。人命に関わる重要なパーツを製造している事を会社全体で共有し、生産活動に臨む必要があります」と山口氏は襟を正す。

目標は、自社の実装基板が使用されている『Made In Japan』の医療機器が増えること。そして、日本だけでなく全世界の人々の健康的な生活に貢献するために、大日光・エンジニアリングは挑戦し続けている。



「精密実装基板」
半導体・チップ等の
微細部品搭載



レンズ加工事業（カメラレンズの製造）では、静電気、温湿度、ホコリ対策の施されたクリーンルームを完備している。

※クラス5,000レベル クリーンルームの床面積（TOTAL:5900m²）

●会社概要

株式会社大日光・エンジニアリング

エミダス会員番号 84523

主要三品目

- ・基板実装・組立事業
- ・光学機器組立事業
- ・電源開発事業（カスタム電源基板・ユニット）

■所在地：〒321-2342

栃木県日光市根室697-1

■TEL：0288-26-3930 FAX：0288-26-3938

■代表者：山口 侑男

■URL：http://www.dne.co.jp/

■従業員：単体：280名 連結：3160名

■創業：1979年9月17日

■資本金：85,630万円

■拠 点：栃木（4工場）、東京、名古屋、中国（2工場：深圳、無錫）、香港、台湾、タイ